

①

壇 しつけ糸するずる抜けて春の果

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな

壇 枯色に生れし子猫の暖かし

壇 親指で涼しく下駄を引つ掛けて

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 梅雨の子の合羽ふくらむランドセル

壇 梅雨の日々傘の折目の消えずあり

壇 蟬の声寄せ付けず滝轟けり

壇 夏瘦せて乳の出悪しき牧の牛

壇 二等辺三角形も夏瘦せて

壇 組み立てて素麺流し試しをる

壇 うつ伏せの文庫昼寝の腹の上

壇 祭果て提灯残る夜更かな

壇 明滅の如くひらひら揚羽蝶

壇 太陽の億万分の一の蟻

壇 鯖缶に鯖の絵、猫缶に猫の絵

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 蟬時雨鳩も鴉もうるさかる

壇 夏草のベンチの丈を越さんとす

壇 揚花火開かんとして息を止め

壇 菊人形の見事な解説文を読む

壇 送り火の消えたる跡を掃き清め

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 吹雪く夜のつひに産声あげにけり

壇 黒電話枯野の中に呟けり

壇 懐の暖かそうな山眠る

壇 凍滝の中に凍つてをりし虹

壇 若人に昭和生れのなき炬燵

壇 七五三ちやほやされてぐつたりと

壇 浮寝鳥ゆつくり廻りつつ流る

壇 押してみる柳葉魚の腹や少し凹む

壇 蠅の腹引きずつて枯れ初むる

壇 落葉してパキッと割るるチヨコレート

壇 踏まれたる落葉の横の落葉かな

壇 大方は空家なりけり枯木村

壇 去年今年虚実皮膚の類なり

壇 木星から見るや土星のお正月

壇 東の果に日出づる国や御代の春

文庫本公役の腹に6.19 午前
57伏せに4:12am

4:10 am

4:14 am

表は暖かい3:30 am

4:15 am

4:17 am

1:26 am

1:28 am

1:30 am

壇 春はあけぼのつひにうぶこゑあげにけり

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 落葉道チョコをパキッと割りにけり

壇 しつけ糸するする抜けて春の果

壇 蟬時雨鳩も鴉もうるさかる

壇 大方は空家なりけり枯木村

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな

壇 夏草がベンチの丈を越さんとする

壇 木星から見ゆる土星のお正月

壇 枯色に生れし子猫も暖かし

壇 揚花火開かんとして息を止め

壇 東の果の日出づる国の御代の春

壇 親指で涼しく下駄をつつかけて

壇 送り火の消えたる跡を掃き清め

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 梅雨の子の合羽ふくらむランドセル

壇 電話線枯野の果の果までも

壇 二等辺三角形も夏痩せて

壇 懐の暖かさうに山眠る

壇 組み立てて素麺流し試しをる

壇 若人に昭和生れのなき炬燵

壇 文庫本昼寝の胸にうつ伏せに

壇 七五三ちやほやされてぐつたりと

壇 明滅の如くひらひら揚羽蝶

壇 焼く前の柳葉魚の腹を押してみる

壇 太陽の億万分の一の蟻

壇 蠟螂の腹引きずつて枯れ初むる

21:15

桐10

20:56

6.19 20:54

21:10

山脈の暖かさを
は住みよるもの
鳥獣

春は暖量と先週に
6.20 8:17 am

整い

2025.6.19 【俳壇賞2025 A tier 3 全129句】 選26句

壇 春はあけぼのつひにうぶこゑあげにけり

た

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 木星から見ゆる土星のお正月

壇 しつけ糸するする抜けて春の果

壇 蟬時雨鳩も鴉もうるさかる

壇 東の果の日出づる国の御代の春

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな

壇 夏草がベンチの文を越さんとす

壇 枯色の子猫なれども暖かし

壇 送り火の消えたる跡を掃き清め

壇 親指で涼しく下駄をつつかけて

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 電話線枯野の果の果までも

壇 梅雨の子の合羽ふくらむランドセル

壇 山眠るその懐の鳥獣

壇 二等辺三角形も夏痩せて

壇 若人に昭和生れのなき炬燵

壇 組み立てて素麺流し試運転

壇 七五三ちやほやされてゐたりけり

壇 文庫本昼寝の胸にうつ伏せに

壇 焼く前の柳葉魚の腹を押してみる

壇 明滅の如くひらひら揚羽蝶

壇 落葉道チヨコをパキンと割りにけり

壇 太陽の億万分の一の蟻

壇 大方は空家なりけり枯木村

2025.6.20【俳壇賞2025 A 4全135句】選26句

壇 春はあけぼの待ちに待ちたる産声が

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 東の果の日出づる国の御代の春

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな

壇 蟬時雨鳩も鴉もうるさかる

壇 木星から見ゆる土星のお正月

壇 枯色の子猫を抱けば暖かし

壇 二等辺三角形も夏痩せて

壇 しつけ糸するする抜けて春の果

壇 送り火の消えたる跡を掃き清め

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 梅雨の子の合羽ふくらむランドセル

壇 七五三ちやほやされてゐたりけり

壇 夏草がベンチの丈を越え始む

壇 山眠るその懐の鳥獣

壇 文庫本昼寝の胸にうつ伏せに

壇 電話線枯野の果の果までも

壇 組み立てし素麺流し試運転

壇 落葉道パキンと割つてチヨコレート

壇 親指で涼しく下駄をつつかけて

壇 若人に昭和生れのなき炬燵

壇 明滅の如くひらひら揚羽蝶

壇 焼く前の柳葉魚の腹を押してみる

壇 太陽の億万分の一の蟻

壇 大方は空家なりけり枯木村

一寸に足る焼焼焼の予り
6.21 2:18am

句年表
実用化

3
7.2
7.2

あけ
7.3
15:41

21:45

25
6:14
25am

7.16
16am

7.4
15am

川底の果の海底秋の香
7.2 8:40am

20
25
6
26
6:15am

8:30am

7.3 15:40

7.4 9:47am

7.4 10:10am

× 656

2025.7.13 【俳壇賞2025 A tier 5 全89】 選30句

12行3段組14ボ 2025年7月13日 17:08へ1桐10

壇 奥様は魔女にあらねど花吹雪

壇 電話線枯野の果の果までも

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな

壇 落葉道パキンと割つてチョコレート

壇 枯色の子猫を抱けば暖かし

壇 大方は空家なりけり枯木村

壇 ~~しつけ糸するする抜けて春の果~~ ^{アツアツ 7.14 5:55 am}

壇 長きもの短く切つて根深汁

壇 六月に入りし五月の忘れ物 ^{春を待つ 6 am}

壇 東の果の日出づる国の御代の春

壇 ~~眩しきは制服にこそ更衣~~

壇 ~~吹雪く夜のつひに産声あげにけり~~

壇 梅雨の子の合羽ふくらむランドセル

またあまたかこを産みに行

壇 ~~夏草がベンチの丈を越え始む~~

またあまたかこを産みに行

壇 ~~釣堀も箱庭もある宿屋かな~~ ^{の 7.14 20 am}

またあまたかこを産みに行

壇 文庫本昼寝の胸にうつ伏せに

壇 七五三ちやほやされてゐたりけり

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 山眠るその懐の鳥獣

壇 組み立てて試し流しの素麺よ

壇 先頭は子狐の持つ狐火か

Top 4
1. アにV
2025 7.14 8:45 am
かこを産みに行

○壇 大仏は座して寝釈迦は横たはる

壇 蟬時雨鳩も雀もうるさかる

壇 電話線枯野の果の果までも

壇 奥様は魔女にあらねど花吹雪

○壇 明滅の如くひらひら黒揚羽

壇 大方は空家なりけり枯木村

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな

壇 人の血を吸ひし蚊もくふ蚊喰鳥

壇 長きもの短く切つて根深汁

壇 枯色の子猫を抱けば暖かし

壇 二等辺三角形も夏痩せて

○壇 水鳥の踵楽しく着水す

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 送り火の消えたる跡を掃き清め

壇 まだかまだかと産声を待つ吹雪の夜

壇 梅雨の子の合羽ふくらむランドセル

○壇 よろよるとのぼり来りて大花火

壇 まだかまだかと産声を待つ吹雪の夜

○壇 釣堀の箱庭のある宿屋かな

壇 天高くオリンピックの馬場馬術

壇 まだかまだかと産声を待つ吹雪の夜

○壇 文庫本昼寝の胸にうつ伏せに

○壇 川底に続く海底秋の暮

壇 まだかまだかと産声を待つ吹雪の夜

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 まだかまだかと産声を待つ吹雪の夜

○壇 組み立てて試し流しの素麺よ

壇 七五三ちやほやされてゐたりけり

壇 まだかまだかと産声を待つ吹雪の夜

壇 太陽の億万分之一の蟻

壇 山眠るその懐の鳥獣

壇 まだかまだかと産声を待つ吹雪の夜

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 落葉道パキンと割つてチョコレート

壇 まだかまだかと産声を待つ吹雪の夜

壇 大仏は座して寝釈迦は横たはる

壇 人の血を吸ひし蚊もくふ蚊喰鳥

壇 水鳥の踵楽しく着水す

壇 奥様は魔女にあらねど花吹雪

壇 二等辺三角形も夏痩せて

壇 まだかまだかと産声を待つ吹雪の夜

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな

壇 送り火の消えたる跡を掃き清め

壇 枯色の子猫を抱けば暖かし

壇 天高くオリンピックの馬場馬術

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 川底に続く海底秋の暮

壇 梅雨の子の合羽ふくらむランドセル

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 七五三ちやほやされてゐたりけり

壇 組み立てし流し素麺ながし初む

壇 山眠るその懐の鳥獣

壇 太陽の億万分の一の蟻

壇 落葉道パキンと割つてチョコレート

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 電話線枯野の果の果までも

壇 蟬時雨鳩も雀もうるさかる

壇 おほかたは空家なりけり枯木村

壇 明滅の如くひらひら黒揚羽

壇 長きもの短く切つて根深汁

16:48 16:47

ごつと

12:45

17:35

17:15

17:15

17:15

17:15

17:15

17:15

17:15

17:15

17:15

17:15

17:15

20
25
・
7
・
16
【俳壇賞2025 A t - 8 全91】
選26句

12行3段組14ホ
2025年7月16日
18:16
1
桐10

壇大仏は座して寝釈迦は横たはる

壇人の血を吸ひし蚊もくふ蚊喰鳥

水鳥の踵楽しく着水す

奥様は魔女にあらねど花吹雪

壇 二等辺三角形も夏痩せて

壇　　まだかまだかと産声を待つ吹雪の夜

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな

壇送り火の消えたる跡を掃き清め

壇 枯色の子猫を抱けば暖かし

壇 天高くオリンピックの馬場馬術

壇 六月に入りし五月の忘れ物

川底に続く海底秋の暮

壇梅雨の黄の合羽に出張るランドセル

壇年輪の密なる冬の来りけり

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 七五三ちやほやされてゐたりけり

壇組み立てて素麺流し流し初む

壇
山眠るその懷の鳥獸

太陽の億万分の一の蟻

壇落葉道パキンと割つてチヨコレート

壇ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 電話線枯野の果の果までも

蟬時雨鳩も雀もうるさかろ

壇 おほかたは空家なりけり枯木村

壇明滅の如くひらひら黒揚羽

壇 長きもの短く切つて根深汁

~~平乙地人
人42乙力女4个
住开合了~~

2025
2-22
4:35am

~~36 37
440
avg~~

~~花の金と花の金と
なりぬれ)
7.22 4:47 am~~

4:52 am
 花のうさぎの金入のなまきり

~~金会神因邪の神とも記しけれ~~ 4:22
5:9 am

~~7:23~~
3:20
a
m

~~7:22
5:9 am~~

OK

馬
と
控
了
7.
17
~~15.~~
17

馬死けやけりばばにけり

7.17
8:15
am

~~暗闇はこんな味です~~

2025
7-19
2 am

1. 打ち立ててこは、船の者
2:5 am

2:5
am

松手入
病時に
耐へて
ぬき去る

6:15 am

永遠に汽泡の割れ縁となす)

7-
22
4:
27
a
m

~~7.
18
4:
50
a
m~~

壇 大仏は座して寝釈迦は横たはる

壇 明滅の如くひらひら黒揚羽

壇 おほかたは空家なりけり枯木村

壇 奥様は魔女にあらねど花吹雪

壇 人の血を吸ひし蚊もくふ蚊喰鳥

壇 長きもの短く切つて根深汁

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな

壇 二等辺三角形も夏痩せて

壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 枯色の子猫を抱けば暖かし

壇 送り火の消えたる跡を掃き清め

壇 まだかまだかと産声を待つ吹雪の夜

壇 蕾の重さ花の重さとなりけり

壇 天高く馬を操る馬場馬術

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 我が道を行くは糸瓜と南瓜かな

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル

壇 川底に続く海底秋の暮

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 組み立てて素麺流し流し初む

壇 七五三ちやほやされてゐたりけり

壇 太陽の億万分の一の蟻

壇 山眠るその懐の鳥獣

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 落葉道パキンと割つてチョコレート

壇 蟬時雨鳩も雀もうるさかろ

壇 電話線枯野の果の果までも

12行3段組14ホ
2025年7月23日
17:24(1)桐10

壇 電話線枯野の果の果までも

壇 おほかたは空家なりけり枯木村

壇
ガス管をガスが通りぬ虎落笛

壇 長きもの短く切つて根深汁

水鳥の踵を効かせ着水す

壇止りをる破魔弓飛び去る通過駅

遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 ~~まだ~~か~~まだ~~かと産声を待つ吹雪の夜

2021.10.21

世より貴重かりける哉かな

支一

—

2025.7.23 俳壇賞 2025 A to 10 全105 選32句

12行3段組14ボ 2025年7月23日 17:24へ1 桐10

壇 花瓶から出られずにある春の闇 ~~春の闇~~ ~~花瓶から出られずにある春の闇~~ ~~22:12~~ ~~花の密度よりも春の空気がな~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 大仏は座して寝釈迦は横たはる ~~大仏は座して寝釈迦は横たはる~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 奥様は魔女にあらねど花吹雪 ~~奥様は魔女にあらねど花吹雪~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな ~~虚子の忌の大浴場の蛇口かな~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 枯色の子猫を抱けば暖かし ~~枯色の子猫を抱けば暖かし~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 蕾の重さ花の重さとなりにつけり ~~蕾の重さ花の重さとなりにつけり~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 六月に入りし五月の忘れ物 ~~六月に入りし五月の忘れ物~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル ~~梅雨の黄の合羽に出張るランドセル~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た ~~取れたての胡瓜につけて味噌冷た~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 組み立てて素麺流し流し初む ~~組み立てて素麺流し流し初む~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 太陽の億万分の一の蟻 ~~太陽の億万分の一の蟻~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 蝉時雨鳩も雀もうるさかる ~~蝉時雨鳩も雀もうるさかる~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 明滅の如くひらひら黒揚羽 ~~明滅の如くひらひら黒揚羽~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 人の血を吸ひし蚊もくふ蚊喰鳥 ~~人の血を吸ひし蚊もくふ蚊喰鳥~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 二等辺三角形も夏痩せて ~~二等辺三角形も夏痩せて~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 送り火の消えたる跡を掃き清め ~~送り火の消えたる跡を掃き清め~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 天高く馬を操る馬場馬術 ~~天高く馬を操る馬場馬術~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 我が道を行くは糸瓜と南瓜かな ~~我が道を行くは糸瓜と南瓜かな~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 川底に続く海底秋の暮 ~~川底に続く海底秋の暮~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 年輪の密なる冬の来りけり ~~年輪の密なる冬の来りけり~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 七五三ちやほやされてゐたりけり ~~七五三ちやほやされてゐたりけり~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 山眠るその懐の鳥獣 ~~山眠るその懐の鳥獣~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 電話線枯野の果の果までも ~~電話線枯野の果の果までも~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 おほかたは空家なりけり枯木村 ~~おほかたは空家なりけり枯木村~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 ガス管をガスが通りぬ虎落笛 ~~ガス管をガスが通りぬ虎落笛~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 長きもの短く切つて根深汁 ~~長きもの短く切つて根深汁~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 水鳥の踵を効かせ着水す ~~水鳥の踵を効かせ着水す~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 止りをる破魔弓飛び去る通過駅 ~~止りをる破魔弓飛び去る通過駅~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る ~~遠火事にわが家と同じ雪が降る~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 まだまだかたと産声を待つ吹雪の夜 ~~まだまだかたと産声を待つ吹雪の夜~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 春の閑登に帽子を引っかけ ~~春の閑登に帽子を引っかけ~~ ~~2025 7-23 22:00~~

壇 花よりも重なる春の空気がな ~~花よりも重なる春の空気がな~~ ~~2025 7-23 22:00~~

お板に破る春の空気がな ~~お板に破る春の空気がな~~ ~~2025 7-23 22:00~~

新地も足もみし
下るたのふ
2025.7.25 15:12

是枯の玉を汁い
こまの玉指
15:14

一月は閑に
満文を
花火の丘
15:16
玉 15:18

2025.7.25 俳壇賞2025 A tier 12 全110 選29句

壇 大仏は座して寝釈迦は横たはる	壇 人の血を吸ひし蚊もくふ蚊喰鳥
壇 奥様は魔女にあらねど花吹雪	壇 二等辺三角形も夏痩せて
壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな	壇 送り火の消えたる跡を掃き清め
壇 枯色の子猫を抱けば暖かし	壇 天高く馬を操る馬場馬術
壇 蕾より花の大きくやはらかく	壇 ゆく末は天下の糸瓜、地の南瓜
壇 六月に入りし五月の忘れ物	壇 川底に続く海底秋の暮
壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル	壇 年輪の密なる冬の来りけり
壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た	壇 山眠るその懐の鳥獣
壇 組み立てて素麺流し流し初む	壇 落葉道パキンと割つてチョコレート
壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻	壇 電話線枯野の果の果までも
壇 蟬時雨鳩も雀もうるさかる	壇 来てみれば空家ばかりぞ枯木村
壇 明滅の如くひらひら黒揚羽	壇 ガス管のガスのスピード虎落笛

12行3段組14ポ 2025年7月25日 14:34 へ1 桐10
束まの人も泣けり 還るの歌 7-25 16:22

壇 長きもの短く切つて根深汁
壇 水鳥の踵を効かせ着水す
壇 止りをる破魔矢、飛び去る通過駅
壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る
壇 まだかまだかと産声を待つ吹雪の夜

お作りの如く衣室に土まの輪
クリスマスツリーにいくつ
クリスマスツリーの
にさかす 15:41
15:39 15:43
15:28 15:25
7-25 15:24

壇 大仏は座して寝釈迦は横たはる

壇 明滅の如くひらひら黒揚羽

壇 ガス管のガスのスピード虎落笛

壇 奥様は魔女にあらねど花吹雪

壇 人の血を吸ひし蚊もくふ蚊喰鳥

壇 長きもの短く切つて根深汁

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな

壇 二等辺三角形も夏痩せて

壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 枯色の子猫を抱けば暖かし

壇 送り火の消えたる跡を掃き清め

壇 止りをる破魔矢、飛び去る通過駅

壇 薔より花の大きくやはらかく

壇 天高く馬を操る馬場馬術

壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 ゆく末は天下の糸瓜、地の南瓜

壇 吹雪く夜のつひに産声あげにけり

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル

壇 川底に続く海底秋の暮

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 組み立てて素麺流し流し初む

壇 山眠るその懐の鳥獣

壇 東京の人に混りて避暑の駅

壇 落葉道パキンと割つてチョコレート

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 電話線枯野の果の果までも

壇 蟬時雨鳩も雀もうるさかる

壇 来てみれば空家ばかりぞ枯木村

壇 大仏は座しぬ寝釈迦は寛ぎぬ

壇 明滅の如くひらひら黒揚羽

壇 ガス管のガスのスピード虎落笛

壇 奥様は魔女にあらねど花吹雪

壇 人の血を吸ひし蚊もくふ蚊喰鳥

壇 長きもの短く切つて根深汁

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな

壇 二等辺三角形も夏痩せて

壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 枯色の子猫を抱けば暖かし

壇 送り火の消えたる跡を掃き清め

壇 止りをる破魔矢、飛び去る通過駅

壇 薔より花は大きくやはらかに

壇 天高く大障害馬場馬術かな

壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 ゆく末は天下の糸瓜、地の南瓜

壇 吹雪く夜のつひに産声あげにけり

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル

壇 川底に続く海底秋の暮

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 組み立てて素麺流し流し初む

壇 山眠るその懐の鳥獣

壇 東京の人に混りて避暑の駅

壇 落葉道パキンと割つてチョコレート

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 電話線枯野の果の果までも

壇 蟬時雨鳩も雀もうるさかる

壇 来てみれば空家ばかりぞ枯木村

おむろむろ 7.26 4am
4i 20 am
7.26 4am

万行の中や桃の能登 3 2025 7-26 3:28 am

中朝ろし 3:30 am
おむろむろ

2025.7.26【俳壇賞2025 A t 15 全140 選30句

12行3段組14ポ 2025年7月26日 08:52 へ1 桐10

壇 大仏は座しぬ寝釈迦は寛ぎぬ ^{あうぎぬ い 26 49 81 55 a m}

壇 ガス管のガスのスピード虎落笛

壇 奥様は魔女にあらねど花吹雪 ^{あうぎぬ い 26 49 81 55 a m}

壇 長きもの短く切つて根深汁

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな ^{あうぎぬ い 26 49 81 55 a m}

壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 枯色の子猫を抱けば暖かし

壇 止りをる破魔矢、飛び去る通過駅

壇 蕾より花は大きくやはらかく

壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 六月に入りし五月の忘れ物 ^{あうぎぬ い 26 49 81 55 a m}

壇 吹雪く夜のつひに産声あげにけり

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル ^{あうぎぬ い 26 49 81 55 a m}

壇 川底に続く海底秋の暮 ^{あうぎぬ い 26 49 81 55 a m}

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 組み立てて素麺流し流し初む

壇 山眠るその懐の鳥獣

壇 東京の人がぞろぞろ避暑の駅

壇 落葉道パキンと割つてチョコレート

壇 万緑に光るは斧よ鋸よ

壇 電話線枯野の果の果までも

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 来てみれば空家ばかりぞ枯木村

2025.7.26 俳壇賞2025 At 16 全14 選30句

壇 大仏は座しぬ寝釈迦はゆつたりと

壇 奥様は魔女にあちねど花吹雪

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな

壇 枯色の子猫を抱けば暖かし

壇 薔より花は大きくやはらかく

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 組み立てて素麺流し流し初む

壇 東京の人がそろそろ避暑の駅

壇 万緑に光るは斧よ鋸よ

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 蟬時雨鳩も雀もうるさかる

壇 明滅の如くひらひら黒揚羽

壇 人の血を吸ひし蚊もくふ蚊喰鳥

壇 送り火の消えたる跡を掃き清め

壇 天高く大障害馬場馬術かな

壇 ゆくゆくは天下の糸瓜、地の南瓜

壇 川底に縋く海底秋の暮

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 山眠るその懐の鳥獣

壇 落葉道パキンと割つてチョコレート

壇 電話線枯野の果の果までも

壇 来てみれば空家ばかりぞ枯木村

12行3段組14ボ 2025年7月26日 16:01 桐10

壇 ガス管のガスのスピード虎落笛

壇 長きもの短く切つて根深汁

壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 止りをる破魔矢、飛び去る通過駅

壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 吹雪く夜のつひに産声あげにけり

窓や長き紙路の曲るとも
7.28 9:25 am

2025.7.28 俳壇賞2025 A 7-17 全14 選29句

壇 啓蟄や長き線路の曲がるとも 蟬時雨鳩も雀もうるさかる

壇 大仏は座して寝釈迦は横たはる 人の血を吸ひし蚊もくふ蚊喰鳥

壇 奥様は魔女の末裔花吹雪 送り火の消えたる跡を掃き清め

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな 天高く大障害馬場馬術かな

壇 枯色の子猫を抱けば暖かし ゆくゆくは天下の糸瓜、地の南瓜

壇 蕾より花は大きくやはらかに 川底に続く海底秋の暮

壇 六月に入りし五月の忘れ物 年輪の密なる冬の来りけり

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル 山眠るその懐の鳥獣

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た 落葉道パキンと割つてチョコレート

壇 組み立てて素麺流し流し初む 電話線枯野の果の果までも

壇 東京の人がそろそろ避暑の駅 来てみれば空家ばかりぞ枯木村

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻 ガス管をガスが流るる虎落笛

壇 長きもの短く切つて根深汁

壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 止りをる破魔矢、飛び去る通過駅

壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 吹雪く夜のつひに産声あげにけり

壇 啓蟄の現場の声の小さくとも

壇 蟬時雨鳩も雀もうるさかる

壇 長きもの短く切つて根深汁

壇 大仏は座して寝釈迦は太々と

壇 人の血を吸ひし蚊もくふ蚊喰鳥

壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 奥様は魔女の末裔花吹雪

壇 送り火の消えたる跡を掃き清め

壇 止りをる破魔矢、飛び去る通過駅

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな

壇 天高く大障害馬場馬術かな

壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 枯色の子猫を抱けば暖かし

壇 ゆくゆくは天下の糸瓜、地の南瓜

壇 吹雪く夜のつひに産声あげにけり

壇 蕾より花は大きくやはらかに

壇 川底に続く海底秋の暮

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル

壇 山眠るその懐の鳥獣

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 電話線枯野の果の果までも

壇 組み立てて素麺流し流し初む

壇 落葉道パキンと割つてチョコレート

壇 東京の人がそろそろ避暑の駅

壇 来てみれば空家ばかりぞ枯木村

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 ガス管をガスが流るる虎落笛

2025.7.29 俳壇賞2025 At 19 全16 選30句

12行3段組14ボ 2025年7月29日 17:04 へ1 桐10

壇 啓蟄の現場の声の小さくとも

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 ~~太仏は座して寝釈迦は手枕に~~

壇 蟬時雨鳩も雀もうるさかる

壇 奥様は魔女の末裔花吹雪

壇 人の血を吸ひし蚊もくふ蚊喰鳥

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな

壇 送り火の消えたる跡を掃き清め

壇 枯色の子猫を抱けば暖かし

壇 天高く大障害馬場馬術かな

壇 蕾より花は大きくやはらかに

壇 ゆくゆくは天下の糸瓜、地の南瓜

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 川底に続く海底秋の暮

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 山眠るその懐の鳥獣

壇 組み立てて素麺流し流し初む

壇 電話線枯野の果の果までも

壇 東京の人がぞろぞろ避暑の駅

壇 落葉道パキンと割つてチョコレート

壇 足の裏乗せて涼しや下駄の上

壇 来てみれば空家ばかりぞ枯木村

吐き水にサイレン投じ 7:30
ローコかな 7:58 am

帰国也 8am

いふかして 7:30
アリスに会ひます? 8:8 am

産生

干ひたる髪にまひる 7:45 am
早も又や 7:30 am
雨の空 7:30 am
7:25 am

壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 吹雪く夜のつひに産声あげにけり

壇 止りをる破魔矢、飛び去る通過駅

壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 長きもの短く切つて根深汁

壇 ガス管をガスが流るる虎落笛

2025.7.30【俳壇賞2025】A 7-20 全152 選30句

壇 奥様は魔女の末裔花吹雪

壇 人の血を吸ひし蚊もくふ蚊喰鳥

壇 長きもの短く切つて根深汁

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな

壇 足の裏乗せて涼しや下駄の上

壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 枯色の子猫を抱けば暖かし

壇 送り火の消えたる跡を掃き清め

壇 止りをる破魔矢、飛び去る通過駅

壇 蕾より花は大きくやはらかく

壇 天高く大障害馬場馬術かな

壇 角の家更地となりぬ霜柱

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 ゆくゆくは天下の糸瓜、地の南瓜

壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル

壇 川底に続く海底秋の暮

壇 吹雪く夜のつひに産声あげにけり

壇 噴水に賽銭投げて帰国せり

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 乾びたる貌に真白きパナマ帽

壇 山眠るその懐の鳥獣

壇 東京の人がぞろぞろ避暑の駅

壇 電話線枯野の果の果までも

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 落葉道パキンと割つてチョコレート

壇 組み立てて素麺流し流し初む

壇 来てみれば空家ばかりぞ枯木村

壇 蝉時雨鳩も雀もうるさかろ

壇 ガス管をガスが流るる虎落笛

2025.7.31 俳壇賞2025 At-21 全15

選30句

もくはれ 2025.7.31 16:20

百一奉

↓

壇 奥様は魔女の血を引く花吹雪

壇 人の血を吸ひし蚊もくふ蚊喰鳥

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな

壇 足の裏乗せて涼しや下駄の上

壇 枯色の子猫を抱けば暖かし

壇 送り火の消えたる跡を掃き清め

壇 薔より花は大きくやはらかく

壇 天高く大障害馬場馬術かな

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 ゆくゆくは天下の糸瓜、地の南瓜

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル

壇 川底に続く海底秋の暮

壇 噴水に賽銭投げて帰国せり

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 乾びたる貌に真白きパナマ帽

壇 山眠るその懐の鳥獣

壇 東京の人がぞろぞろ避暑の駅

壇 電話線枯野の果の果までも

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 落葉道パキンと割つてチョコレート

壇 組み立てし素麺流し流し初む

壇 来てみれば空家ばかりぞ枯木村

壇 蝉時雨鳩も雀もうるさかる

壇 ガス管をガスが流るる虎落笛

大いなき33を
14月半五 厚境校下の田
2025.8.1 2:37 am

太陽も

地を揺けて

ザリリとに 4:22 am

にガスの流満 16:31 16:25

ガス漏れか部屋に燃えやう 16:30

遠のやガスもれぬは所 17:45 16:35

あつた月今宵 8:4 2:5 am

2025・8・4【俳壇賞2025 A 7-22 全145】

選30句

12行3段組14ボ 2025年8月4日 11:11へ1桐10

壇 奥様は魔女ダーリンに花吹雪

壇 容赦なく虫切り刻む草刈機

壇 ガス管をガスが流るる虎落笛

壇 百番も百一番も春の星

壇 太陽も西瓜も丸く大いなる

壇 長きもの短く切つて根深汁

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな

壇 送り火の消えたる跡を掃き清め

壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 薔より花は大きくやはらかく

壇 天高く大障害馬場馬術かな

壇 止りをる破魔矢、飛び去る通過駅

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 ゆくゆくは天下の糸瓜、地の南瓜

壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル

壇 川底に続く海底秋の暮

壇 吹雪く夜のつひに産声あげにけり

壇 噴水に賽銭投げて帰国せり

壇 角の家更地となりぬ月今宵

壇 乾びたる貌に真白きパナマ帽

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 谷川に晒せど子らの日焼かな

壇 山眠るその懐の鳥獣

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 電話線枯野の果の果までも

壇 組み立てし素麺流し流し初む

壇 落葉道パキンと割つてチョコレート

壇 人の血を吸ひし蚊もくふ蚊喰鳥

壇 来てみれば空家ばかりぞ枯木村

一乗も百乗も 2025 8.5 18:14

たけ

百千乗も 8.5 15:12

全145 8.5 18:16

図 蛇より長きを年れ 20 25 8.5 18:15

12行3段組14ホ
2025年8月6日
00:13
1
桐10

壇
水鳥の踵を効かせ着水す

壇止りをる破魔矢、飛び去る通過駅

壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 吹雪く夜のつひに産声あげにけり

$\frac{1}{2} \times 33 = 16.5$
 $\frac{1}{2} \times 28 = 14$
 $\frac{1}{2} \times 22 = 11$

[]

~~20
 17
 2
 又
 地
 之
 在
 一
 乙~~

475
amg
1

7
6
5
4
3
2
1
0
-1
-2
-3
-4
-5
-6
-7
-8

~~7/2/24~~

海城 7.1

~~8.6
15:20~~

月
~~天~~
8.8心
17:
24

月
~~天~~
天と
なうし
8.8 17.25

↑
京
化
1
2

月曜33
18:28

6:8 あかり
15:22 けい

壇花結びにも蝶結びにも春の風

壇 太陽も西瓜も丸く重たけれ

~~壇~~
一番星も百番星も春の星

壇 送り火の消えたる跡を掃き清め

壇奥様は魔女、ダーリンに花吹雪

壇 天高く大障害馬場馬術かな

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 ゆくゆくは天下の糸瓜、地の南瓜

壇梅雨の黄の合羽に出張るランドセル

壇
川底に続く海底秋の暮

壇 噴水に賽錢投げて帰国せり

壇月天心更地となりし角の家

壇 乾びたる貌に真白きパナマ帽

壇年輪の密なる冬の来りけり

壇谷川に日々晒せども日焼の子

長きもの短く切つて根深汁

壇 明日からの素麺流し組み上がる

壇止りをる破魔矢、飛び去る通過駅

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 たんまりと血を吸ひし蚊を蚊喰鳥

壇吹雪く夜のつひに産声あげにけり

壇容赦なく虫も切り裂く草刈機

~~残事のヒルに手をとれ
9.13 0:45 am~~

~~(残事) 土へ封切の子供~~

9.4 #3-8 14

壇 花結びにも蝶結びにも春の風

壇 容赦なく虫も切り裂く草刈機

壇 吹雪く夜のつひに産声あげにけり

~~壇~~ 紙から土へ封切の種子袋

壇 太陽も西瓜も丸く重たけれ

壇 奥様は魔女、ダーリンに花吹雪

壇 送り火の消えしあたりを掃き清め

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 天高く大障害馬場馬術かな

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル

壇 ゆくゆくは天下の糸瓜、地の南瓜

~~壇~~ そのなかに怒号絶叫雲の峰

壇 川底に続く海底秋の暮

壇 噴水に賽銭投げて帰国せり

壇 月天心更地となりし角の家

壇 乾びたる貌に真白きパナマ帽

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 谷川に日々晒せども子の日焼

壇 長きもの短く切つて根深汁

壇 明日からの素麺流し組み上げて

~~壇~~ 地下街の硝子輝けクリスマス

~~壇~~ 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 止りをる破魔矢、飛び去る通過駅

壇 たんまりと血を吸ひし蚊を蚊喰鳥

壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 花結びにも蝶結びにも春の風 壇 太陽も西瓜も丸く重たけれ

壇 奥様は魔女、ダーリンに花吹雪 壇 送り火の消えしあたりを掃き清め

壇 六月に入りし五月の忘れ物 壇 天高く大障害馬場馬術かな

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル 壇 ゆくゆくは天下の糸瓜、地の南瓜

壇 そのなかの怒号絶叫雲の峰 壇 川底に続く海底秋の暮

壇 噴水に賽銭投げて帰国せり 壇 月天心更地となりし角の家

壇 乾びたる貌に真白きパナマ帽 壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 谷川に日々晒せども子の日焼 壇 長きもの短く切つて根深汁

壇 明日からの素麺流し組み上げて 壇 ~~地下街の硝子に映ゆるクリスマス~~

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た 壇 止りをる破魔矢、飛び去る通過駅

壇 たんまりと血を吸ひし蚊を蚊喰鳥 壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 容赦なく虫も切り裂く草刈機 壇 吹雪く夜のつひに産声あげにけり

日記の子日々念ひに 9.16
晒せども 4:45am

まてい 4:47am
は 映えて 9.16 4:37am

こよひ 9.16 4:35am

壇 花結びにも蝶結びにも春の風

壇 容赦なく虫も切り裂く草刈機

壇 吹雪く夜のつひに産声あげにけり

壇 足場して梁や柱や春の雷

壇 太陽も西瓜も丸く重たけれ

壇 奥様は魔女、ダレリンに花吹雪

壇 送り火の消えしあたりを掃き清め

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 天高く大障害馬場馬術かな

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル

壇 ゆくゆくは天下の糸瓜、地の南瓜

壇 そのなかの怒号絶叫雲の峰

壇 川底に続く海底秋の暮

壇 噴水に賽銭投げて帰国せり

壇 月こよひ更地となりし角の家

壇 乾びたる貌に真白きパナマ帽

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 日焼の子日々谷川に晒せども

壇 長きもの短く切つて根深汁

壇 明日からの素麺流し組み立てて

壇 地下街は硝子映えしてクリスマス

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 止りをる破魔矢、飛び去る通過駅

壇 たんまりと血を吸ひし蚊を蚊喰鳥

壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 花結びにも蝶結びにも春の風 壇 日焼の子日々谷川に晒せども

壇 雛壇に呵々大笑はなかりけり 壇 明日からの素麺流し組み立てて

壇 四国にはスタンプラリー藤の花 壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 奥様は魔女、ダーリンに花吹雪 壇 たんまりと血を吸ひし蚊を蚊喰鳥

壇 土砂降りのあの遠足を語り草 壇 容赦なく虫も切り裂く草刈機

壇 細く長く風船の尾も空をゆく 壇 太陽も西瓜も丸く重たけれ

壇 巣箱にはカーテンのなき目覚めかな 壇 送り火の消えしあたりを掃き清め

壇 六月に入りし五月の忘れ物 壇 天高く大障害馬場馬術かな

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル 壇 ゆくゆくは天下の糸瓜、地の南瓜

壇 そのなかの怒号絶叫雲の峰 壇 川底に続く海底秋の暮

壇 噴水に賽銭投げて帰国せり 壇 月こよひ更地となりし角の家

壇 乾びたる貌に真白きパナマ帽 壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 長きもの短く切つて根深汁

壇 地下街は硝子映えしてクリスマス

壇 止りをる破魔矢、飛び去る通過駅

壇 大氷柱なりヒョウチュウと言ふべかり

壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 吹雪く夜のつひに産声あげにけり

壇 丸窓にカーテンのな

壇 天高く大障害馬場馬術かな

壇 ゆくゆくは天下の糸瓜、地の南瓜

壇 川底に続く海底秋の暮

壇 月こよひ更地となりし角の家

壇 年輪の密なる冬の来りけり

2等賞の向き?

自作R

?

もろく期回著す
9.18 7:25 am

丸窓にカーテンのな
2025 9.18 15:45

呼
9.18 7:27 am

壇 花結びにも蝶結びにも春の風

壇 明日からの素麺流し組み立てて

壇 地下街は硝子映えしてクリスマス

壇 雛壇に呵々大笑はなかりけり

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 止りをる破魔矢、飛び去る通過駅

壇 四国にはスタンプラリー藤の花

壇 たんまりと血を吸ひし蚊を蚊喰鳥

壇 大氷柱なりヒョウチュウと呼ぶべかり

壇 奥様は魔女、ダーリンに花吹雪

壇 容赦なく虫も切り裂く草刈機

壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 土砂降りのあの遠足を語り草

壇 太陽も西瓜も丸く重たけれ

壇 吹雪く夜のつひに産声あげにけり

壇 細く長く風船の尾も空をゆく

壇 送り火の消えしあたりを掃き清め

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 天高く大障害馬場馬術かな

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル

壇 ゆくゆくは天下の糸瓜、地の南瓜

壇 そのなかの怒号絶叫雲の峰

壇 川底に続く海底秋の暮

壇 噴水に賽銭投げて帰国せり

壇 月こよひ更地となりし角の家

壇 乾びたる貌に真白きパナマ帽

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 日焼の子日々谷川に晒せども

壇 長きもの短く切つて根深汁

壇 花結びにも蝶結びにも春の風

壇 明日からの素麺流し組み立てて

壇 地下街は硝子映えしてクリスマス

壇 雛壇に呵々大笑はなかりけり

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 止りをる破魔矢、飛び去る通過駅

壇 奥様は魔女、ダーリンに花吹雪

壇 たんまりと血を吸ひし蚊を蚊喰鳥

壇 大氷柱なりヒョウチュウと呼ぶべかり

壇 四国にはスタンプラリー藤の花

壇 容赦なく虫も切り裂く草刈機

壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 土砂降りのあの遠足を語り草

壇 太陽も西瓜も丸く重たけれ

壇 吹雪く夜のつひに産声あげにけり

壇 細く長く風船の尾も空をゆく

壇 送り火の消えしあたりを掃き清め

壇 日本は白地に赤く雪兎

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 天高く大障害馬場馬術かな

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル

壇 ゆくゆくは天下の糸瓜、地の南瓜

壇 そのなかの怒号絶叫雲の峰

壇 川底に続く海底秋の暮

壇 噴水に賽銭投げて帰国せり

壇 月こよひ更地となりし角の家

壇 乾びたる貌に真白きパナマ帽

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 日焼の子日々谷川に晒せども

壇 長きもの短く切つて根深汁

2025.9.20【俳壇賞2025 A 7-31 全15句】選31句

12行3段組14ボ 2025年9月20日 19:35 へ1 桐10

壇 花結びにも蝶結びにも春の風 壇 明日からの素麺流し組み立てて

壇 雛壇に呵々大笑はなかりけり 壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 奥様は魔女、ダーリンに花吹雪 壇 たんまりと血を吸ひし蚊を蚊喰鳥

壇 四国にはスタンプラリー藤の花 壇 容赦なく虫も切り裂く草刈機

壇 土砂降りのあの遠足を語り草 壇 太陽も西瓜も丸く重たけれ

壇 細く長く風船の尾も空をゆく 壇 送り火の消えしあたりを掃き清め

壇 六月に入りし五月の忘れ物 壇 天高く大障害馬場馬術かな

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル 壇 ゆくゆくは天下の糸瓜、地の南瓜

壇 そのなかの怒号絶叫雲の峰 壇 川底に続く海底秋の暮

壇 噴水に賽銭投げて帰国せり 壇 月こよひ更地となりし角の家

壇 乾びたる貌に真白きパナマ帽 壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 日焼の子日々谷川に晒せども 壇 この駅を支線の出づる時雨かな

壇 長きもの短く切つて根深汁

壇 地下街は硝子映えしてクリスマス

壇 止りをる破魔矢、飛び去る通過駅

壇 大氷柱なりヒョウチュウと呼ぶべかり

壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 吹雪く夜のつひに産声あげにけり

壇 日本は白地に赤く雪兎

伏線
を再びたもつ衣をかき
9.21 8:30 am
9.22 6:24 am

2025・9・22【俳壇賞2025 A+32 全15二句】選29句

12行3段組14ボ 2025年9月22日 19:05へ1桐10

壇 花結びにも蝶結びにも春の風

壇 明日からの素麺流し組み立てて

壇 止りをる破魔矢、飛び去る通過駅

壇 雛壇に呵々大笑はなかりけり

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 氷柱太々ヒョウチュウと呼ぶべかり

壇 奥様は魔女、ダーリンに花吹雪

壇 たんまりと血を吸ひし蚊を蚊喰鳥

壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 四国にはスタンプラリー藤の花

壇 容赦なく虫も切り裂く草刈機

壇 吹雪く夜のつひに産声あげにけり

壇 待て待てと風船の尾も空をゆく

壇 天高く大障害馬場馬術かな

壇 日本は白地に赤く雪兎

壇 土砂降りのあの遠足を語り草

壇 ゆくゆくは天下の糸瓜、地の南瓜

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 川底に続く海底秋の暮

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル

壇 月こよひ更地となりし角の家

壇 そのなかの怒号絶叫雲の峰

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 噴水に賽銭投げて帰国せり

壇 この駅を支線の出づる時雨かな

壇 乾びたる貌に真白きパナマ帽

壇 長きもの短く切つて根深汁

壇 日焼の子日々谷川に晒せども

壇 地下街は硝子映えしてクリスマス

空王や風船に
尾のさむさる
9.22 22:37

尾のさむさる
1:14 am 9.22 20:23

近き子

壇 花結びにも蝶結びにも春の風

壇 明日からの素麺流し組み立てて

壇 止りをる破魔矢、飛び去る通過駅

壇 雛壇に何々大笑はなかりけり

壇 取れたての胡瓜につけて味噌冷た

壇 氷柱太々ヒョウチュウと呼ぶべかり

壇 奥様は魔女、ダーリンに花吹雪

壇 たんまりと血を吸ひし蚊を蚊喰鳥

壇 金屏に金の雨ふる真暗闇

壇 四国にはスタンプリー藤の花

壇 容赦なく虫も切り裂く草刈機

壇 遠火事にわが家と同じ雪が降る

壇 空をゆく風船の尾の長きかな

壇 天高く大障害馬場馬術かな

壇 吹雪く夜のつひに産声あげにけり

壇 土砂降りのあの遠足を語り草

壇 ゆくゆくは天下の糸瓜、地の南瓜

壇 日本は白地に赤く雪兎

壇 六月に入りし五月の忘れ物

壇 川底に続く海底秋の暮

壇 梅雨の黄の合羽に出張るランドセル

壇 月こよひ更地となりし角の家

壇 そのなかの怒号絶叫雲の峰

壇 年輪の密なる冬の来りけり

壇 噴水に賽銭投げて帰国せり

壇 この駅を支線の出づる時雨かな

壇 乾びたる貌に真白きパナマ帽

壇 長きもの短く切つて根深汁

壇 日焼の子日々谷川に晒せども

壇 地下街は硝子映えしてクリスマス

脱稿

またりやろー 是稿 FFP 不利用にまゐる LWT